

「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」

第8条の規定による民間事業者の客観的な評価の公表

民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（平成11年法律第117号）第7条第1項の規定により、リサイクルセンター整備運営事業を実施する民間事業者を選定したので、同法第8条第1項の規定により行った客観的な評価の結果をここに公表する。

平成23年2月10日

一宮市長 谷 一夫

1 事業名

リサイクルセンター整備運営事業

2 事業の内容

リサイクルセンター整備運営事業は、一宮市で発生する一般廃棄物（以下「廃棄物」という。）の適正な処理を行うため、循環型社会に対応したリサイクルセンター（以下「施設」という。）を整備し、運営・維持管理することを目的とする。また、既存粗大ごみ処理施設の解体・撤去を行う。

市は、本事業において施設の整備、運営及び維持管理の業務を民間事業者に一括かつ長期的に実施させることにより、民間事業者の創意工夫が発揮され、財政負担の縮減及び公共サービスの水準の向上等が図られることを目的とする。

(1) 計画地敷地面積

約 39,000 m²

(2) 施設整備の概要

名称	リサイクルセンター
施設概要	○リサイクルセンター ・粗大ごみ・不燃ごみ処理設備 市内から排出される不燃ごみ、粗大ごみを受け入れ、破碎し、磁選及びアルミ選別し資源化する。選別後の不燃残渣は埋立処分する。 施設規模：51t/5h（鉄くず1tを含む。なお、鉄くずについては、破碎処理を原則とするが、必要としないものは、ストックヤードに保管する。） ・空き缶・金属類処理設備

	<p>市内から発生する空き缶（スチール缶・アルミ缶）、金属類を受け入れ、破袋・除袋し、処理不適物除去し、磁選及びアルミ選別して資源化する。</p> <p>施設規模：9 t / 5 h</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報展示スペース 見学者説明は市が行う。 ・管理居室 運転員・作業員が使用する居室等のスペース（運転員控室、作業員控室、会議室、便所等） <p>○不燃・粗大ごみ等ストックヤード 市民から直接搬入された不燃ごみ・粗大ごみ等の一時保管、粗破碎の作業スペースとして整備する。なお、受け入れ、選別等の運転は市が行う。</p>
--	--

(3) 解体施設の概要

	単位	粗大ごみ処理施設
施設規模	t/日	回転式破砕機：50t/日 切断式破砕機：10t/日
竣工年度	—	S63年3月
方式	—	破砕選別方式
建築面積	m ²	1,488.59
延床面積	m ²	2,202.54
階数	—	地上：2階
主要構造		鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）
基礎構造		杭基礎

※既存のマットレス解体所を使用しない場合は、本事業において解体する。

(4) 事業方式

公設民営（DBO）方式

(5) 事業期間

- ・整備期間：平成23年4月1日から平成26年3月31日（3年間）

ただし、リサイクルセンター本体については、平成25年3月25日に試運転を終えて完成させること。

- ・運営期間：平成25年3月25日から平成40年3月31日（約15年間）

(6) 事業の対象となる業務範囲

- ・事業者が行う業務

ア 本施設の設計

- ①本施設の設計（解体後の不燃・粗大ごみ等ストックヤードを含む）
- ②南側空地の設計

- ③その他関連業務（市の循環型社会形成推進交付金（以下「交付金」という。））、市債申請支援及び施設建設に伴う許認可申請支援等）

イ 本施設の建設

- ①本施設の建設（解体後の不燃・粗大ごみ等ストックヤードを含む）
- ②南側空地の整備（緑化）
- ③既存粗大ごみ処理施設等の解体・撤去
- ④その他関連業務（建設企業等が行うべき近隣対応等）

ウ 本施設の運営・維持管理

- ①廃棄物の受入業務（受付・計量、不燃・粗大ごみ等ストックヤードにおける受け入れ、選別作業を除く）
- ②運転管理業務
- ③維持管理業務（施設の維持管理、点検・保守、その他一切の修理業務を含む）
- ④情報管理業務
- ⑤環境管理業務
- ⑥関連業務

・市が行う業務

ア 本施設の設計・建設に関する業務

- ①近隣対応（市が行うべきもの）
- ②一般廃棄物処理施設の設置届出
- ③生活環境影響調査手続き
- ④施設建設に伴う交付金申請手続き
- ⑤施設建設・解体撤去に伴う各種許認可の申請・取得
- ⑥建設工事監理
- ⑦その他これらを実施する上で必要な業務

イ 本施設の運営・維持管理

- ①廃棄物の収集運搬業務
- ②廃棄物の受入業務（受付・計量、不燃・粗大ごみ等ストックヤードにおける受け入れ、選別作業）
- ③可燃・不燃残渣の処理、処分
- ④資源化物の売却
- ⑤見学者への対応
- ⑥本施設外の外構・植栽管理

- ⑦本施設外の警備
- ⑧用水・電気の提供及び排水処理
- ⑨その他関連業務（市が行うべき近隣対応等）
- ⑩契約管理（モニタリング）の実施
- ⑪その他これらを実施する上で必要な業務

3 事業者の選定方法

事業者の募集及び選定は、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の10の2の規定に基づく総合評価一般競争入札方式により実施した。

4 事業者選定までの経過

日付	内容
平成22年 4月28日（水）	実施方針の公表
平成22年 5月 6日（木）～ 5月18日（火）	実施方針に対する質問・意見の受付
平成22年 5月31日（月）	実施方針に対する質問・意見への回答
平成22年 6月 9日（水）	特定事業の選定・公表
平成22年 7月 9日（金）	入札説明書等の公表
平成22年 7月16日（金）	入札説明書等に対する説明会及び現地見学会
平成22年 7月20日（火）～ 7月21日（水）	質問の受付期間（第1回）
平成22年 8月12日（木）	質問回答の公表（第1回）
平成22年 8月20日（金）	参加表明書、資格審査申請書類受付
平成22年 8月30日（月）	資格審査結果の通知
平成22年 9月 1日（水）～ 9月 3日（金）	質問の受付期間（第2回）
平成22年 9月17日（金）	質問回答の公表（第2回）
平成22年10月29日（金）	提案書の受付
平成22年12月 5日（日）	提案書に関する事業者ヒアリング
平成22年12月14日（火）	落札者の決定及び公表
平成23年 2月10日（木）	客観的な評価の公表

5 審査委員会の設置

事業提案の審査は、透明性及び公平性を確保することを目的として設置した「リサイクルセンター整備運営PFI事業審査委員会（以下「審査委員会」という。）」において行う。なお、地方自治法施行令に規定される総合評価一般競争入札実施に際しての学識経験者の意見聴取（落札者決定基準及び落札者の決定）についても当審査委員会で行った。

審査委員会は、以下の6名で構成される。

委員長 奥野 信宏（中京大学総合政策学部教授）

委員長代理	藤澤 敏治	(名古屋大学大学院工学研究科教授)
委員	臼井 孝嘉	(公認会計士)
委員	高木 道久	(弁護士)
委員	山口 善司	(一宮市副市長)
委員	濱地 仁	(一宮市建設部長)

6 審査委員会の開催経過

本事業における審査委員会の開催経過は、次のとおりである。

【審査委員会の開催及び審議・審査の経緯】

日付	内 容
平成22年 4月 5日 (月)	■第1回審査委員会 事業概要報告、実施方針(案)、審査方法について
平成22年 5月24日 (月)	■第2回審査委員会 特定事業選定、審査の進め方について
平成22年 6月26日 (土)	■第3回審査委員会 入札図書、落札者決定基準、ヒアリングの進め方について
平成22年11月27日 (土)	■第4回審査委員会 提案内容に関する意見交換
平成22年12月 5日 (日)	■第5回審査委員会 事業者ヒアリング、意見交換
平成22年12月11日 (土)	■第6回審査委員会 最優秀提案の審議、最優秀提案の選定
平成23年 1月27日 (木)	■第7回審査委員会 審査講評について

7 審査の方法

(1) 参加資格審査

市は、入札参加者から提出される参加表明書及び参加資格審査申請書類により、入札説明書に示す入札参加資格要件をすべて満たしていることを確認する。参加資格要件を満たしていない場合は失格とする。

(2) 入札書類審査

市は、入札書に記載された入札価格が、予定価格の範囲内であることを確認する。入札価格が予定価格を超えている入札参加者は失格とし、提案書類審査の対象としない。

(3) 基礎審査の方法

ア 審査方法

市は、入札参加者から提出される提案書により、入札参加者が以下に示す基礎審査項目を満たしていることを確認する。基礎審査項目について1項目でも満たさないことが確認された場合は失格とする。全ての基礎審査項目を満たしていることが確認された場合、当該提案書について定量化審査を行う。

【基礎審査の項目】

審査対象	基礎審査項目
共通事項	<ul style="list-style-type: none">提案書全体について、同一事項に対する2通り以上の提案又は提案事項間の齟齬、矛盾等がないこと。提案書全体について、様式集に従った構成（項目の構成、枚数制限等）となっていること。
設計・建設工事計画提案書	<ul style="list-style-type: none">当該提案に関する各様式に示す項目に対する提案の内容が要求水準書を満たしていること。
運営・維持管理計画提案書	<ul style="list-style-type: none">当該提案に関する各様式に示す項目に対する提案の内容が要求水準書を満たしていること。
事業計画提案書	<ul style="list-style-type: none">リスク分担に関し、実施方針、入札説明書等で示したリスクの分担方針との齟齬がないこと。運営等業務委託料の事業期間を通じた合計金額（税込み額）が2,617,524千円以内であること。

(4) 定量化審査の方法

ア 審査方法

定量化審査においては、設計・建設工事、運営、事業計画及び入札価格の各審査項目について提案内容を得点化し、得点の合計値を総合評価値とする。

なお、定量化審査における各審査項目の配点及び評価の視点については、市が本事業に期待する事項の必要性又は重要性を勘案して設定した。

【定量化審査の配点表（中項目別）】

審査項目		配点
1. 設計・建設工事に関する事項		12点
	(1) 安定・経済運転	4点
	(2) 災害対策	4点
	(3) 見学者対応	1点
	(4) 環境対策	3点
2. 運営・維持管理に関する事項		8点
	(1) 受入管理	2点
	(2) 運転管理	2点
	(3) 維持管理	3点
	(4) 情報・環境管理	1点
3. 事業計画に関する事項		10点
	(1) 長期収支計画の安定性	2点
	(2) リスク管理方針	2点
	(3) 地域や社会への貢献	3点
	(4) 全体的な事業実施計画	3点
4. 入札価格に関する事項		70点
合計		100点

イ 入札価格に関する事項以外の得点化方法

審査委員会は、提案書に記載された内容について、入札説明書及び要求水準書に示す要件を超える部分について、その中項目ごとに、以下に示す「入札価格以外の得点化方法」に示す5段階評価により得点を付与する。

評価	判断基準	得点化方法
A	当該評価項目において特に優れている	配点×1.00
B	AとCの中間程度	配点×0.75
C	当該評価項目において優れている	配点×0.50
D	CとEの中間程度	配点×0.25
E	当該評価項目において優れているとは認められない	配点×0.00

ウ 入札価格以外の審査項目、審査のポイント及び配点

【定量化審査の配点表】

審査項目（小項目別）	配点
1 設計・建設工事に関する事項	12点
(1) 安定・経済運転	4点
ア 貯留、保管並びに機器の余裕について、優れた提案がなされているか。	
イ 用役使用量及び排水の削減について、優れた提案がなされているか。	
ウ その他安定・経済運転について、優れた提案がなされているか。	
(2) 災害対策	4点
ア 火災・爆発対策について、優れた提案がなされているか。	
イ 地震対策について、優れた提案がなされているか。	
ウ 雨水対策について、優れた提案がなされているか。	
エ その他災害対策について、優れた提案がなされているか。	
(3) 見学者対応	1点
ア 情報展示スペースについて、優れた提案がなされているか。	
イ その他見学者対応について、優れた提案がなされているか。	
(4) 環境対策	3点
ア 施設機能としての環境基準について、優れた提案がなされているか。	
イ 雨水対策としてのリサイクル資材の活用について、優れた提案がなされているか。	
ウ 省エネルギー対策について、優れた提案がなされているか。	
エ 工事期間中の周辺環境対策について、優れた提案がなされているか。	
オ その他環境対策について、優れた提案がなされているか。	
2 運営・維持管理に関する事項	8点
(1) 受入管理	2点
ア 危険物、処理困難物等の確認及び取扱等について、優れた提案がなされているか。	
イ その他受入管理について、優れた提案がなされているか。	
(2) 運転管理	2点
ア 環境センターとの連携について、優れた提案がなされているか。	
イ 見学者対応に対し、優れた提案がなされているか。	
ウ 資源物回収に対し、優れた提案がなされているか。	
エ その他運転管理について、優れた提案がなされているか。	
(3) 維持管理	3点
ア 点検補修計画について、優れた提案がなされているか。	
イ 明渡し状態について、優れた提案がなされているか。	
ウ その他維持管理について、優れた提案がなされているか。	
(4) 情報・環境管理	1点
ア 市民への情報発信及び環境測定等について、優れた提案がなされているか。	
イ その他情報・環境管理等について、優れた提案がなされているか。	
3 事業計画に関する事項	10点
(1) 長期収支計画の安定性	2点
ア SPCの安定化方策として、優れた提案がなされているか。	
イ 不測の事態への対応策として、優れた提案がなされているか。	
ウ その他長期収支計画の安定性について、優れた提案がなされているか。	
(2) リスク管理方針	2点
ア リスク管理の基本的な考え方について、優れた提案がなされているか。	
イ 本事業に伴うリスクを認識し、優れた提案がなされているか。	
ウ その他リスク管理方針について、優れた提案がなされているか。	
(3) 地域や社会への貢献	3点
ア 地元企業（主たる営業所（本社）が市内である企業）の参加について、優れた提案がなされているか。	
イ 地元住民（尾西清掃事業所の職員を含む）の雇用について、優れた提案がなされているか。	
ウ その他地域や社会への貢献について、優れた提案がなされているか。	

(4) 全体的な事業実施計画		3点
ア 市との各種協議の実施計画について、優れた提案がなされているか。		
イ セルフモニタリングの実施計画について、優れた提案がなされているか。		
ウ その他事業実施計画について、優れた提案がなされているか。		
4 入札価格に関する事項		
入札価格		70点
合 計		100点

エ 入札価格に関する事項の得点化方法

入札価格について、次の方法により評価し、得点を付与する。

- ①入札参加者の中で、最低入札価格となった提案に対し、配点の満点である70点を付与する。
- ②他の入札参加者の提案については、最低入札価格との比率により算出する。得点は小数点第三位以下を四捨五入した値とする。

(算定式)

$$\text{入札価格得点} = \frac{\text{最低入札価格}}{\text{入札価格}} \times 70 \text{点}$$

8 審査結果

平成22年7月9日に入札公告を行い、平成22年8月20日に参加表明書及び資格審査申請書類を受け付けたところ、以下の2グループから入札参加の申請があった。参加資格審査にて2グループとも入札参加資格を有することを確認し、平成22年8月30日に代表企業に対し入札参加資格確認を書面にて通知した。

【入札参加者一覧表】

川崎重工業グループ	
代表企業	川崎重工業株式会社
設計企業	川崎重工業株式会社
建設企業 (建屋担当)	川崎重工業株式会社
建設企業 (プラント担当)	川崎重工業株式会社
運営企業	K E E 環境サービス株式会社
日立造船グループ	
代表企業	日立造船株式会社中部支社
設計企業	日立造船株式会社中部支社
建設企業 (建屋担当)	日立造船株式会社中部支社
建設企業 (プラント担当)	日立造船株式会社中部支社
運営企業	日立造船株式会社中部支社

平成 22 年 10 月 29 日に 2 グループより提案書が提出された。市が基礎審査を行ったところ、2 グループともが基礎審査項目を満たしていることを確認し、審査委員会に報告した。

平成 22 年 11 月 27 日、12 月 5 日及び 12 月 11 日に、審査委員会は当該 2 グループの提案書について、落札者決定基準に基づき定量化審査を行った。各グループの定量化審査結果を次のとおり示す。また、各グループの提案について審査委員会が評価した事項を別紙 1 に示す。

【定量化審査結果一覧表】

審査項目	配点	川崎重工業 グループ		日立造船 グループ	
		評価	得点	評価	得点
1. 設計・建設工事に関する事項					
(1)安定・経済運転	4	B	3.00	B	3.00
(2)災害対策	4	B	3.00	A	4.00
(3)見学者対応	1	B	0.75	B	0.75
(4)環境対策	3	B	2.25	C	1.50
小計①	12		9.00		9.25
2. 運営・維持管理に関する事項					
(1)受入管理	2	C	1.00	B	1.50
(2)運転管理	2	C	1.00	C	1.00
(3)維持管理	3	C	1.50	C	1.50
(4)情報・環境管理	1	C	0.50	C	0.50
小計②	8		4.00		4.50
3. 事業計画に関する事項					
(1)長期収支計画の安定性	2	C	1.00	C	1.00
(2)リスク管理方針	2	B	1.50	B	1.50
(3)地域や社会への貢献	3	B	2.25	C	1.50
(4)全体的な事業実施計画	3	B	2.25	C	1.50
小計③	10		7.00		5.50
中計(小計①～③)	30		20.00		19.25
4. 入札価格に関する事項					
(1)入札価格	70	—	56.16	—	70.00
小計④	70		56.16		70.00
得点合計(中計+小計④)	100		76.16		89.25

9 落札者の決定

市は、審査委員会で選定した最優秀提案を踏まえ、平成22年12月14日に日立造船グループを落札者として決定した。

<日立造船グループ>

代表企業	日立造船株式会社中部支社
設計企業	日立造船株式会社中部支社
建設企業（建屋担当）	日立造船株式会社中部支社
建設企業（プラント担当）	日立造船株式会社中部支社
運営企業	日立造船株式会社中部支社

なお、別紙2に審査委員会の審査講評を示す。

10 落札者の事業計画に基づく財政支出の削減効果

落札者の入札価格に基づき、本事業にDBO方式を導入して実施する場合の市の財政支出と、市が直接事業を実施する場合の財政支出の比較を行った結果、現在価値換算で42.5%の削減が見込まれるとともに、落札者の優れた提案により、事業期間を通じて良質な公共サービスを提供することが期待できる。

【財政支出の削減効果（現在価値換算値）】

① 従来方式における一宮市財政支出	4,164 百万円
② DBO方式における一宮市財政支出	2,394 百万円
DBO方式の導入による財政支出の削減効果（①－②）	1,771 百万円 (42.5%)

注) ①については、平成22年6月9日付けで公表した特定事業の選定における前提条件（県補助廃止の変更あり）から算出した。②は、事業者の落札金額に対し、市収支額（交付金収入、起債金利、市税収、施工監理費等）を加減した上で現在価値換算した金額である。

審査委員会が評価した事項

川崎重工業グループ	日立造船グループ
1 設計・建設工事に関する事項	
(1) 安定・経済運転	
<p>各ストックヤードの容量、不燃・粗大ごみ処理ライン、空き缶・金属類処理ラインの能力について余裕ある提案があった。</p> <p>また、プラント用上水、電気、排水を削減する具体的な提案があった。</p> <p>さらに、適切な動線計画及び近隣施設と導入機器の部品を共有する等の優れた提案があり、高く評価した。</p>	<p>各ストックヤードの容量、不燃・粗大ごみ処理ライン、空き缶・金属類処理ラインの能力について余裕ある提案があった。</p> <p>また、プラント用上水、電気、排水を削減する具体的な提案があった。</p> <p>さらに、車両往来の削減が図れ、安全且つ安定的な運搬の優れた提案があり、高く評価した。</p>
(2) 災害対策	
<p>火災・爆発の監視体制とともに耐震の考え方についての優れた提案があった。</p> <p>また、雨水対策として、機器の水没対策とともに雨水貯留施設における対策量など具体的な数値の提案があった。</p> <p>さらに、自営消防隊の組織、食料等の備蓄の提案があり、高く評価した。</p>	<p>火災・爆発の監視体制、延焼防止対策とともに耐震の考え方についての優れた提案があった。</p> <p>また、雨水対策として、雨水貯留施設における対策量など具体的な数値の提案があった。</p> <p>さらに、電気室の浸水対策、ネットフェンスの設置による台風時のごみ飛散防止の提案があり、特に高く評価した。</p>
(3) 見学者対応	
<p>情報展示スペースとして、エントランス、見学ルート、インテリアについて優れた提案があった。</p> <p>また、周辺環境との調和、市の木・花の植樹、定期研修、外国人や障害者への対応について提案があり、高く評価した。</p>	<p>情報展示スペースとして、エントランス、情報展示スペース、再生展示スペース、処理の解説スペースについての優れた提案があった。</p> <p>また、建物のデザインや色彩、植栽についての提案があり、高く評価した。</p>
(4) 環境対策	
<p>悪臭対策、粉じん対策について優れた提案があった。</p> <p>また、雨水対策としてリサイクルプラスチック材を使用する提案とともに多くの省エネ対策の提案があった。</p> <p>さらに、土砂等汚濁水が直接公共雨水排水溝へ流入しないことへの配慮、植栽への優れた提案等があり、高く評価した。</p>	<p>粉じん対策について優れた提案があった。</p> <p>また、雨水対策として、再生砕石使用アスファルト舗装、下水汚泥焼却灰混入インターロッキングブロックの活用や、廃プラスチックによる再資源化された貯留槽の採用等の提案とともに多くの省エネ対策の提案があった。</p> <p>さらに、環境負荷軽減方法に対する基準の設定、自主検査・社内検査に対する提案があり、評価した。</p>
2 運営・維持管理に関する事項	
(1) 受入管理	
<p>搬入ごみの展開検査について優れた提案があり、評価した。</p>	<p>搬入ごみの展開検査について優れた提案があった。</p> <p>また、処理不適物の見落とし防止対策、搬入者への処理不適物による影響の周知対策等について提案があった。</p> <p>さらに、隣接地元企業の敷地で緊急時のごみ受入についての提案があり、高く評価した。</p>

川崎重工業グループ	日立造船グループ
(2) 運転管理	
<p>見学者の特性に応じた説明方法、全職員による見学者対応、見学者の移動時の交通安全確保等の提案があった。</p> <p>また、作業員の多能工化の提案があり、評価した。</p>	<p>環境センターとの連携として、廃棄物処理施設事故対応マニュアル作成指針に基づく緊急時対応マニュアルの整備の提案があった。</p> <p>また、機器トラブルや年末年始・年度末の人材及び人員の応援体制の提案があり、評価した。</p>
(3) 維持管理	
<p>第三者機関による事業終了時の機能検査、明け渡し後の事業支援に関する優れた提案があった。</p> <p>また、整備・補修等に関する履歴管理方法の提案があり、評価した。</p>	<p>第三者機関による事業終了時の機能検査、円滑な事業引継の確保策に関する優れた提案があった。</p> <p>また、他施設のトラブル情報の反映方法の提案があり、評価した。</p>
(4) 情報・環境管理	
<p>市民への情報発信として、ホームページの開設とともに、ステークホルダーとの座談会開催の提案があった。</p> <p>また、環境報告書の作成等について優れた提案があり、評価した。</p>	<p>市民への情報発信として、ホームページを開設する提案があった。</p> <p>また、騒音、振動、悪臭の測定頻度について、優れた提案があり、評価した。</p>
3 事業計画に関する事項	
(1) 長期収支計画の安定性	
<p>出資者、出資者別出資額とともに適正な出資計画が明示されていた。</p> <p>また、SPCの資金内部留保及び代表企業への支払い留保についての提案とともにグループ各社のバックアップ体制についての提案があった。</p> <p>さらに、高精度な機器寿命予測及び調達計画に基づくとの提案があり、評価した。</p>	<p>出資者、出資者別出資額とともに適正な出資計画が明示されていた。</p> <p>SPCの内部留保及び代表企業への支払い留保についての提案があり、評価した。</p>
(2) リスク管理方針	
<p>リスク負担者の管理方策とともに、リスク管理に関する会議を定期的に開催する提案、マニュアルや点検リスト等を整備した管理体系の構築についての提案があった。</p> <p>また、事業者負担のリスクへの対応策を明示した提案とともに、代表企業保険専門部門と共同でリスク分析を実施し最適な保険を付保する提案があった。</p> <p>さらに、ヒューマンエラー防止策についての優れた提案があり、高く評価した。</p>	<p>リスク負担者の管理方策についての優れた提案があった。</p> <p>また、事業者負担のリスクへの発生抑制策と負担方法を明示した提案とともに、損害保険会社による検討と代表企業の実績に基づく判断による保険付保の検討についての提案があり、高く評価した。</p>
(3) 地域や社会への貢献	
<p>地元企業への具体的な発注計画とともに、地元企業との協議状況が示され、発注業種と予想発注金額の明示、発注予定の地元企業を明示する提案があった。</p> <p>また、尾西清掃事業所職員を優先する新規雇用策についての提案とともに、現粗大ごみ処理施設の職員が引き続き本施設の運転管理業務に従事する提案、一宮シルバー人材センターの積極的活用についての提案があった。</p> <p>さらに、積極的な地域貢献活動への取り組みに関する提案があり、高く評価した。</p>	<p>地元企業との協議状況が示されているとともに、発注業種及び発注予定の地元企業を明示する提案があった。</p> <p>また、地元在住者の優先採用、尾西清掃事業所職員の最優先雇用についての提案とともに、再雇用制度による地元雇用の維持、障害者雇用についての提案があった。</p> <p>さらに、地域交流イベントの開催と参加する提案があり、評価した。</p>

川崎重工業グループ	日立造船グループ
(4) 全体的な事業実施計画	
<p>市との各種協議にあたり、具体的な会議体、協議内容に関する提案とともに、各稼働日における合同朝礼についての提案があった。</p> <p>また、第三者機関による監視を含むモニタリングに関する独自の提案があった。</p> <p>さらに、体系的な教育訓練プログラムの導入についての提案があり、高く評価した。</p>	<p>市との各種協議にあたり、具体的な会議体、協議内容に関する提案があった。</p> <p>また、セルフモニタリングに関する独自の提案があり、評価した。</p>
4 入札価格に関する事項	
(1) 入札価格	
4,502,400,000 円	3,612,000,000 円

リサイクルセンター整備運営事業

リサイクルセンター整備運営PFI事業審査委員会 審査講評

本事業は、市内で発生する廃棄物の適正な処理を行うため、循環型社会に対応したリサイクルセンターを整備、運営・維持管理することを目的とし、あわせて既存粗大ごみ処理施設の解体・撤去を行います。

一宮市において、PFI法の手続きに則して実施した案件としては、斎場整備運営事業に続く2例目であり、一般廃棄物処理施設としては初めての案件でした。

当初から多くの企業から関心が寄せられ、最終的に2グループより応募がありました。2グループの提案はどちらも、本事業の目的及び内容を深く理解したうえで、市が要求する水準を上回る優れた提案内容でした。両グループにおかれましては、提案書を作成するにあたり、多大な労力を費やされたものと推察でき感謝の念にたえません。

リサイクルセンター整備運営PFI事業審査委員会では、あらかじめ公表された落札者決定基準書に則し、「設計・建設工事に関する事項」、「運営・維持管理に関する事項」、「事業計画に関する事項」、「入札価格に関する事項」について厳正かつ公正に審査を行いました。

その結果、リサイクルセンター整備運営PFI事業審査委員会では、日立造船グループの提案を最優秀提案として選定しました。

今後、市と事業契約を締結し、事業を実施していくこととなりますが、その際には、公共サービスのさらなる向上のため、日立造船グループに対しては、以下の事項に留意して事業を実施されることを望みます。

- ・建設期間中、運営期間中を通じた環境センター内の車両動線に関する安全性の向上
- ・騒音、振動、悪臭、粉じん等に関する一層の配慮
- ・地元企業の活用等による地域社会への貢献

平成23年2月

リサイクルセンター整備運営PFI事業審査委員会
委員長 奥野 信宏